

<全体分析>

試験時間 100 分

解答形式 記述式と客観式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点 日本語・英語両方の記述力を試すオーソドックスな問題

その他トピックス 問題Ⅲ2) トピックに対する賛成・反対の意見を述べる形式になった。

問題Ⅳ問2について、同様の文法項目 (比較級の強調の far) が 2024 年度東北大入試オープン問題Ⅳ問1 で出題されている。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	読解総合	「現代人と古代人の宇宙観」 (約 1092 語)	評論 《出典》Matthew Shindell, <i>For the Love of Mars: A Human History of the Red Planet</i> (大学発表) 問 1 正誤問題:本文中の 8 つの下線部について文法的な間違いを含むものを 2 つ選ぶ。...questions are impossible to answer them と...it appeared ancient humans の 2 つが間違いを含むものであった。 問 2 文挿入:本文中 3 つの空所に入る適切な文を選択肢から選ぶ。選択肢は 3 つ。 問 3 英文和訳:they と those が指すものを明らかにして下線部を和訳する。 問 4 内容説明:下線部 this の内容を説明する。 問 5 内容一致:本文の内容から正しいと判断できる英文を 5 つの選択肢から 2 つ選ぶ。	標準
II	読解総合	「アメリカ社会における教育格差」 (約 968 語)	評論 《出典》Michael Gerson, Stephanie Summers and Katie Thompson, <i>Unleashing Opportunity: Why Escaping Poverty Requires a Shared Vision of Justice</i> (大学発表) 問 1 文挿入:本文中 3 つの空所に入る適切な文を選択肢から選ぶ。選択肢は 3 つ。 問 2 英文和訳:never+比較級表現の訳出がポイント。 問 3 内容説明:下線部 economic mobility の内容を説明する。 問 4 語句整序:5 つの語を並び替える問題。 問 5 英文和訳:分詞構文の訳出、of their own making, feel anxious about... ,live up to...などの表現の訳出がポイント。 問 6 本文全体のタイトル:本文のタイトルとして適切なものを 4 つの選択肢から選ぶ。	標準
III	読解総合	「外国人の日本語学習」 (約 482 語)	対話文 1) 空所補充:対話文の空所に入れる適切な表現を選択肢から選ぶ。空所は 5 つ。 2) 意見論述:「日本政府が日本語を外国語として学ぶことを推進することは重要か」というトピックに対して賛成または反対の意見を述べる。意見とともに 2 つの理由を書く。語数は 80 語程度。	標準
IV	英作文		《出典》酒井邦嘉『科学という考え方ーアインシュタインの宇宙』(一部改変) (大学発表) 問 1 語句整序:下線部の日本語を参考に語句を並び替える。空所が 8 つに対して選択肢は 10 個。 問 2 語句整序:問 1 と同様の形式。 問 3 和文英訳:文脈に即して英訳をする。「人知」「…という確信」「…があって初めて…」「ひるむことなく」などの表現・構文がポイント。	標準

注:区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

読解問題については、センテンスの意味、文と文のつながり、段落と段落のつながりを意識した読解が必要になってくる。「基本動作」としての和訳の力をしっかりと身につけるとともに、文章の流れを理解して設問の解答につなげるような練習を積むことが必要である。英語による意見論述については、表現したい内容を正確に英文にできる力とともに、論理的な文章展開力が求められる。添削等を通じてスキルアップを図って欲しい。英語表現問題 (英訳・語句整序等) については、基本的な構文の知識をおさえつつ、日本語を適切な英語にする際に必要な語彙力を高めていくとよい。また、全ての問題を通じて語彙力や文法知識が重要であるので、継続的に学習を進めていって欲しい。